

2023 年 8 月 1 日(火)

人の集団のカラーと同期現象

群馬大学 名誉教授 小林春夫

当時客員教授の先生と半導体関係の会社を訪問した後に「相手のあの方は〇〇社出身と思う」と二人の印象が一致した。大学にいと工学系の分野では学生のリクルートや産学連携でいくつもの企業さんと交流がある。それぞれの「社風」があると感じる。またそれぞれの分野の国際会議でも雰囲気異なることを経験する。

<https://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/warehouse/2017ISPACS-report-kobayashi.pdf>

大学の先生方でも同じ研究室出身の方々は現在それぞれ他大学で活躍されていても共通のカラーを感じる。企業出身の先生は自分の分野ならどの会社出身かを想定できることがしばしばある。なぜそのようなことが生じるのかと想っていた。

ずいぶん以前に産業界との打ち合わせにて「2つの発振回路」を用いる方式を提案したところ、「インジェクションロックング」が問題にならないかと指摘された。この現象は高周波回路や半導体レーザの分野では「善玉」として積極的に利用されるが、逆に「悪玉」になることもある。これは周波数や位相の引き込み現象で下記を見ると面白い。

[ばらばらに動く 32 個のメトロノームが自然と足並みをそろえていくムービー - GIGAZINE](#)

[Injection Locking : Physics • Rational Skepticism Forum](#)

複数の振り子の同期現象はオランダの物理学者ホイヘンスも見出している。ものの本によれば 暗室の実験では人体の体内時間周期は 25 時間であるが、地球の自転の周期が 24 時間なので 24 時間になっているとのことである。これに加え 蛍の発光、蠟燭での炎の揺れ、心理学でのミラーリング効果の同期現象が知られている。

[東日本型ゲンジボタルの同期明滅 - YouTube](#)

[ろうそく同期 \(4 本\) - Bing video](#)

人の集団のカラーもこの同期現象ではないか。ある集団でなんらかの強いリズムがあるとそれに周りの人達も引き込まれてその集団のカラーが形成されるではないかと思う。

また、集団的浅慮(Group Thinking) というとも経験する。「三人寄れば文殊の知恵」と正反対で、複数で物事を決めようとすると（一人で冷静に考えればそのような妙な(?) ことを考えるはずがないような) 全くおかしい決定をしてしまうという現象である。

[2014-08-23RF.pdf \(gunma-u.ac.jp\)](#)

これも複数の人たちでの同期現象ではないかと思う。